

第6学年 エネルギー・環境教育プラン2008

■学年テーマ

地球温暖化とわたしたちの暮らし

■学年の研究目標

大学や専門機関と連携をしながら環境や地球温暖化問題をテーマとした継続した観察調査活動を行う中で、自分自身の生活を見つめ直し、未来を想像しながら実践していくことができる児童の育成を目指す。

- 教科との関連を図りながら、課題を見つけて解決していくための問題解決能力（生きる力）を育てる。
- 物事を多面的・総合的にとらえ、事実に基づいて考えて公正に判断する論理的思考力を育てる。（PISA型学力・批判的思考力の育成）

■目指す子ども像

全体	① 生活を見つめ直し、 地球の視野で考える子ども 【Think Globally】	② 未来を想像しながら、 地域で実践していく子ども 【Act Locally】
学年	環境や地球温暖化問題の視点で自分たちの生活を見つめ直し、地球の視野から考える子ども	環境を守り、地球温暖化問題を防ぐために何ができるかを考え、自ら実践して活動を広げようとする子ども

■研究の視点に対する具体的な手立て

視 点		学 年
視点 1	持続可能なエネルギー・環境教育プログラムの深化と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度までプログラムを土台としつつ、現在と未来を見据えた新たな活動プログラム「温暖化・ぼくらがとめる・まかせとけ～総集編」を設定する。
視点 2	子どもたちの関心を引き出し、思考を深めていくような学習内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の導入などにおいて、子どもたちの関心を引き付けるようなしかけを工夫する。 ・ 調べたことを発表するだけでなく、テーマについて考えを出し合って深めるような場面を設定する。
視点 3	地域や大学、専門機関との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北工業大学・近藤研究室との連携に加えて、NPO ストップ温暖化センターみやぎに協力していただきながら温暖化防止の学習プログラムを開発する。
視点 4	身に付けさせたい力の明確化と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度までのエネルギー環境教育としての評価規準を6年生の学習活動に沿ったものに修正する。